

民報あばしり

NO. 934
2013/ 9/1
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二一四四五八
四三二一四四五七

集中豪雨の被害判明

20日午後、網走市内を襲った集中豪雨の被害状況が判明しました。土木関係では、



向陽ヶ丘北8号線の通行止め現場

稲富地区を中心に道路の路面洗掘・土砂流出・法面崩壊などの97箇所道路被害がでました。

この日は、大雨警報が午後2時31分に出て、午後3時30分から1時間の雨量が25.5ミリと災害基準適用の雨量に達しました。農業関係では、稲富のチグサ藻琴川の氾濫により農地約3ヘクタールへ流入したが、麦刈り後だったので大きな被害は出なかった。

交通規制は、つくしヶ丘東2号線が約3時間、潮見団地線（信金前）が20分、藻琴東通線（四中前）12時間でありましたが、向陽ヶ丘北8号線（2丁目7-1）は道路の真ん中にある雨水管の回りが陥没し、現在も通行止めが続いています。

第26回農業委員会総会

網走市農業委員会総会が27日に行われ、議案第1号現況照明について、台町、

字潮見、字卯原内の3地区で、公簿地目が畑であっても現況は非農地であることから願出人から地目変更登記が提出されているものです。審議の結果、認めました。

議案第2号農地等の所有権移転について、農地法第3条の規定による所有権移転の許可申請が2件あり審議の結果、認めました。議案第3号農地等の賃貸借による権利の設定について、議案第4号農地等の転用について、議案



いっせいで東奔西走

24日、25日市営球場で行われた網走ソフトボール協会の夏恒例のイベント「チャリテイ24時間ソフトボール大会」に参加しました。

この大会は、テレビ放送されているチャリテイ番組「愛は地球を救う」に協賛して毎年開催され、今年で16年目を迎えました。

開会式では、病氣入院中の会長にかわり副会長として主催者挨拶をしました。始球式の後、第一試合は恒例の「市議会議員チーム」が西軍として登場し、私は監督としてベンチで活躍しました。同僚の松浦議員も3番ファーストで出場若さを遺憾なく発揮していました。

助っ人の大澤副市長は昔とつた杵柄ならぬ、年齢を感じさせない投打での大活躍でした。翌日の朝6時より2試合を審判しているときは天気は良かったのですが、昼過ぎより天候が悪化し集中豪雨などもあって4時間早い午後2時に無念の中止となりましたが悪天候のなか、若手を中心としたソフトボール協会の準備・運営・後片付けには頭が下がりました。会場に設けられた募金箱には9万以上の募金があり、「愛は地球を救う」番組チャリテイに送金されました。

松浦奮戦モ

安倍内閣の暴走が加速しています。沖縄米軍普天間基地へのオスプレイの追加配備、海外での武力行使を可能とする集団的自衛権の行使を認め、内閣法制局長官の首を切り、集団的自衛権の行使を認める人物を起用する。

戦没者追悼記念式典では「アジアへの加害責任への反省」や「不戦の誓い」を削除する。消費税増税へ強引に「景気回復」を宣言して進めようとする。

医療や介護、年金、保育など社会保障のあらゆる分野での改悪と負担増へ向けた「プログラム法案」骨子の閣議決定。

国民にまったく知らせないまま秘密交渉を続けるTPPでは年内妥結の方向でアメリカに協力。原発問題では、汚染水の危機に手をこまねきながら再稼働に突き進む。

よくもこんなに盛りだくさんに悪政を進めるものだと呆れてしまいます。国民世論で悪政にストップを！

流水

今日中はともかく朝晩の気温が低くなって秋の気配を感じるようになりまし。今年の網走は猛暑が続き、7月以上も雨が降らない異常な夏でした。農作物への影響も大きく、秋の収穫が心配です。わが家のちっぼけな菜園も水やりで大変でしたが、「水道料が高くなるなあ」とそつちの方が心配です。市内のパークゴルフ場も芝が枯れて管理に苦労していました。最近の天気は何かおかしい、とみんなが感じています。

局地的にとんでもない大雨が降ったり、激しい雷が多かったり、日本では殆ど起こらなかった竜巻も警報がたびたび出るようになったり。海水温の関係で釧路で黒マグロたくさんとれた。昨年に引き続きブリがオホーツク海でとれている。スルメイカが不漁……暮らしに直結する“異常”がとて多くなりました。

▼世界に広がる異常はどう考えても人類がもたらしたのでしょうか。木を切り、水を汚し、空気を汚し、二酸化炭素を増やし……地球の悲鳴が聞こえています。なかでも、とりわけ取り返しのつかない地球破壊は放射能。福島原発は放射能を出し続け、地下へ、海へと流れ込んでいます。▼天然水、なんとか還元水、汚染水……言葉で免罪してはいけません。汚染水とは水の種類ではなくて放射能そのものです。(〇)